

## 水都大阪ブリッジテラス社会実験の実施

### 開催概要

### 中之島ガーデンブリッジ



北新地縁日

中之島ガーデンブリッジでは、幅員20メートルという広い空間を活かした取組みが行われています。特に、シンボリックな取組みである北新地縁日では、橋の中央にやぐらが設置されるとともに、射的や飲食などの露店が設けられ、中之島エリアの家族連れが来訪するなど、これまでにない賑わいを形成しています。

### 錦橋



マルシェ

加島屋橋(中之島・堂島歴史展示)

錦橋では、両サイドを通行帯として、中央部分の空間において、マルシェや観光ブース、ビアガーデン、FMラジオの生放送などが行われています。有効幅員は概ね10メートルで、ヒューマンスケールに即した利活用により、賑わいが一層感じられるものとなっています。また、あわせて「加島屋橋」のイベント・歴史展示、テラス利活用などを実施しています。

## 水晶橋



水晶橋マルシェ



可変式ベンチの実験



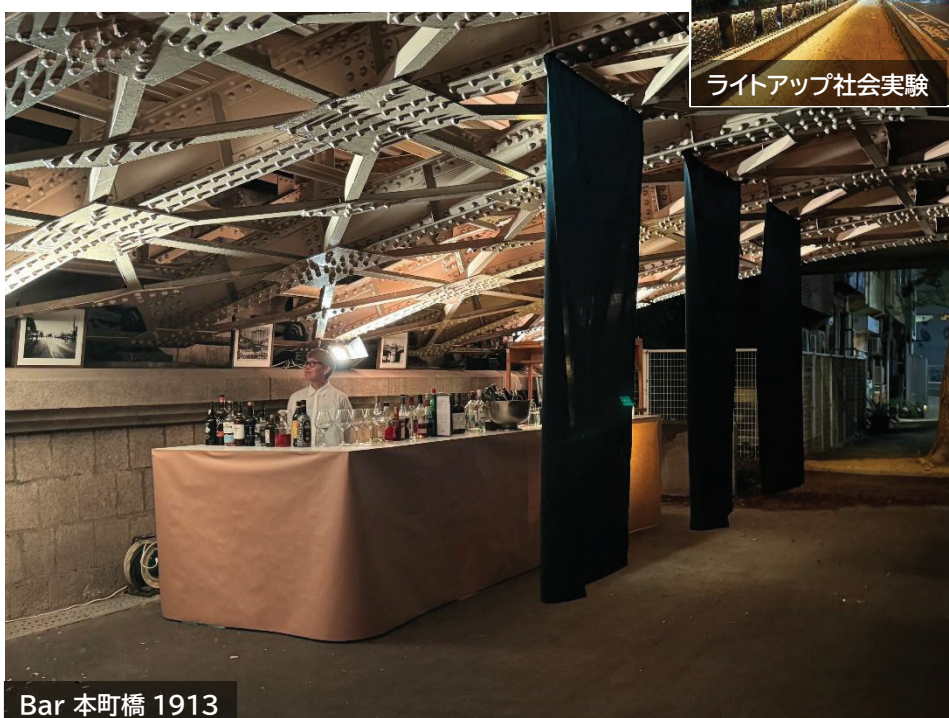
SUP・水上さんぽ体験



ほんのもりピクニック

水晶橋では、マルシェなどの物販を中心としながら、ゆったりと憩うことのできるファニチャーの設置などが行われています。他の橋にない取組みの特徴としては、橋の上流にある導流堤、船着場を活用したSUP・水上さんぽ体験で、橋とともにエリア一帯でのマネジメントの可能性を確認しています。

## 本町橋



Bar 本町橋 1913



ライトアップ社会実験



橋詰マルシェ



橋を巡る水と光のモニタークルーズ

本町橋では、ライトアップや花植えなどの演出要素を中心としながら、橋下や橋詰、バルコニーの利活用が行われています。2025年の春には、「橋を巡る水と光のモニタークルーズ」が行われ、橋とにぎわい創造拠点であるβ本町橋、船着場が連動した取組みの可能性を確認し、秋には橋下空間を活用した「Bar 本町橋 1913」をはじめ、「本町橋橋詰広場デザインコンペ」のプレゼンテーション会場としても活用しています。

# 中之島ガーデンブリッジ



## 1. 橋の現況

### 周辺エリア

- 橋の北側は大阪を代表する高級歓楽街の北新地エリアがあり、南側はオフィスが集積する中之島・淀屋橋エリアが立地しています。
- 中之島・淀屋橋エリアにはオフィスビルや文化施設などが集積していますが、近年では6丁目での高層住宅をはじめ住宅開発が進展し、従来のビジネス中心から、職住が融合した地域に変化しています。



## 中之島ガーデンブリッジ

- 橋長: 77.5m
- 幅員: 20.0m
- 竣工: 1990(平成2)年
- 種類: 歩行者専用橋(人道橋)

### 【特徴】

～インフラ～

- 過去の社会実験を通じて電気・水道・倉庫などのインフラ設備が完備

～景観～

- 堂島川・中之島のビル群・阪神高速のライトアップなどが見渡せる視点場



## ポテンシャル・連携施設



京阪大江橋駅

- 京阪大江橋駅が近接することから、アクセス性、集客性が高い橋であると言えます。



堂島公園



堂島浜船着場

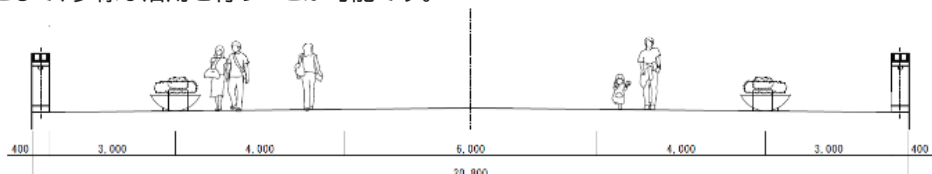


中之島遊歩道

- 接続する歩行者専用道の中之島遊歩道により、中之島・淀屋橋エリアの歩行者ネットワークが形成されています。

- 堂島公園に隣接しており、また、御堂筋側の公園には堂島浜船着場が整備されていることから、水運ネットワークを構築することが可能です。

- 幅約20メートルの広い幅員は、都心における貴重な広場として、多様な活用を行うことが可能です。



断面図

## 2. 社会実験の取り組み内容と検証結果

2012年

### 北新地ガーデンブリッジカフェ社会実験 2012.10.13~10.21

- 公共空間の新たな活用策の検討と、地域主体の事業実施に向けた仕組みづくりの実験を通して、中之島GB及び周辺における恒常的な賑わいと魅力ある水辺空間を創出しました。



プラスコンサート



清掃・緑化活動

【検証結果】 橋上でのオープンカフェによる集客や安全性などを確認。

2023年

### 中之島ブリッジテラス2023オースタム 2023.11.2

- 橋の日常管理、担い手の発掘・醸成、大阪万博を契機にした橋上空間の魅力発信などを目的として、企業、大学などによる中之島ブリッジテラス実行委員会を発足し、橋上を周辺地域のワーカーや住民の憩い空間として活用する社会実験を実施しました。



飲食販売

【検証結果】 円滑で安全な通行幅員、飲食販売の課題、休憩機能のニーズなどを確認。

2024年

### 中之島ブリッジテラス2024春 2024.5.24

- アートブース、北新地・ANAクラウンプラザホテル大阪ブース、大学のクリエイト&アクトブース、歴史ブースなど多様な主体による取り組みを実施しました。



大学のクリエイト&アクトブース

【検証結果】

- ① 多様な主体によるコンテンツの実施を通じて、必要となるインフラ、通行幅員のあり方などを確認。
- ② 桁裏ライトアップにより、高架下の明るさの確保はもとより安全性、演出性を確認。



ライトアップ

### 水都大阪ブリッジテラス2024秋 2024.10.11~12

- 「みんなの色が混ざりあう橋」をテーマとして、橋の上に 誰もがくつろぎ 遊び 楽しむことができる空間の創出、憩い、飲食、学び、スポーツなどのコンテンツを開催しました。



企業コンテンツ

【検証結果】 コンテンツ範囲の拡大による安全性の確認をはじめ、円滑な通行幅員のあり方などを確認。

2025年

### 水都大阪ブリッジテラス2025春 2025.5.19~25

- 「人と人を結ぶ未来の架け橋」をテーマとして、学生提案による取り組み、クライマックスとなる地元地域提案の「北新地縁日」を開催しました。



北新地縁日(盆踊り)

【検証結果】 通行帯2.0mを確保して、その他の空間を活用する北新地縁日(盆踊り)を開催し、安全性、通行機能に問題がないことを確認。

### 水都大阪ブリッジテラス2025秋 2025.9.24~26・28

- アメリカニューヨークの空中庭園「ハイライン」のような豊かな緑空間づくりとして人工芝を敷き詰め、あわせて多様な利用のできるファニチャーを設置しました。



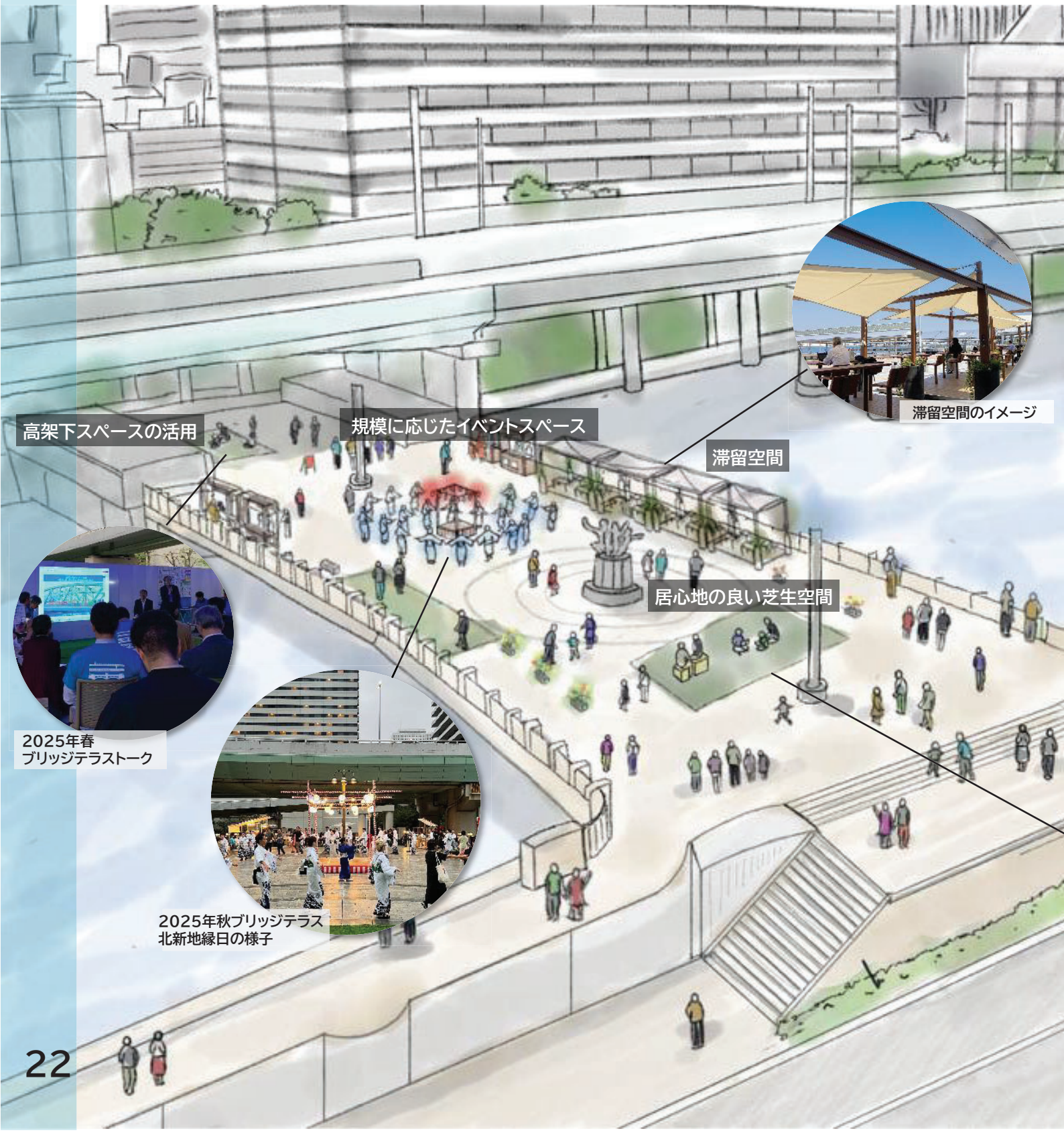
コンサート

【検証結果】 通行帯を2か所に区分し、人工芝を敷設したその他の空間を利活用空間としても安全性や円滑な通行が確保できることを確認。

# 中之島ガーデンブリッジ

## 3. 橋とエリアの将来像を示す2030ビジョン

- 幅約20メートルという広い空間と人道橋という特性を活かして、多様な賑わい創出を図ることに期待が持たれます。
- 橋の周辺には、中之島遊歩道や堂島公園、堂島浜船着場といったパブリックな空間、施設が立地していることから、橋上だけでなく、周辺エリアも含めた面的な取組みを行うことが考えられます。



高架下スペースの活用

規模に応じたイベントスペース

滞留空間

居心地の良い芝生空間

滞留空間のイメージ

2025年春  
ブリッジテラス  
ストーク

2025年秋ブリッジテラス  
北新地縁日の様子

# 周辺エリアとのネットワーク



## 地域文化を“伝える” 舞台としての橋

北新地の粋・芸能・食文化、  
水都大阪の魅力・橋の歴史を発信する

船着き場から船が行き交う様子



水都大阪にふさわしい橋上空間の魅力向上に向けたコンセプト

## 人と人を結ぶ未来の架け橋

市民が“育てる”  
民間主体の公共空間

行政から地域へ管理主体を  
移行し、地域で橋を運用する

橋上空間の  
新たなかたちを“探る”

道路占用許可等の特例制度などを  
活用し、橋上空間の先進モデルへ

水上と橋上の連携



2025年秋ブリッジテラス  
芝生空間の様子

## 地域主体による活動イメージ

### 日常利用

- ① 地域マネジメント団体による日常の維持管理
- ② プレイヤーによる主体的な取組み
- ③ 飲食販売など、一時的な活用

### イベント利用

- ① 周辺の公共空間との一体的活用
- ② 関わる主体を増やす
- ③ 多様なイベント開催  
(自主的・小規模なイベントから大規模なイベントまで、ターゲットごとに合わせたアプローチ)

# 中之島ガーデンブリッジ

## 4. 2030に向けたロードマップ

「水都大阪ブリッジテラス2030ビジョン」策定 ▼

第1フェーズ(～2025年)

第2フェーズ(2026年～)

試行期間

活動促進期間

利活用ポテンシャルの検証

### ■ ハード施策 [空間デザイン/機能]

#### ■ 滞留空間と通行空間の断面(幅員)の検証

- 通行機能としての最少幅員(2.0m)を確認
- 地域交流イベントとしての盆踊りの開催
- 日常と非日常のあり方、望ましい区域を確認

#### ■ エリア活動を促進するインフラ設備の検証 (電気・水道・倉庫)

- 電気設備の改良
- 倉庫(万能塀)の改良
- 風対策(パラソル設置方法が課題)

#### ■ 安全・安心・魅力の向上を図る橋上空間の検証

- 阪神高速道路路肩裏ライトアップの実施

### ● ソフト施策 [マネジメント]

#### ● 事業ニーズの検証

- 橋上での販売を通じた飲食ニーズを確認

#### ● プレイヤーの発掘

- 清掃・花植え活動の実施
- 飲食・音楽・ダンスなど多様なプレイヤーによるコンテンツ・賑わいの創出

#### ● 堂島公園とのネットワークのあり方の検証

- 周辺企業による店舗出店で拠点形成は行えたが、案内誘導や情報発信、動線の強化が課題であることを確認

### ● ソフト施策 [マネジメント]

- 周辺エリアの活動との連携促進、体制構築の可能性検証
- 活動を推進する制度の選定と活動区域の検証
- 持続的な活動とするための効果的なマネタイズ(活動財源)のあり方の検証

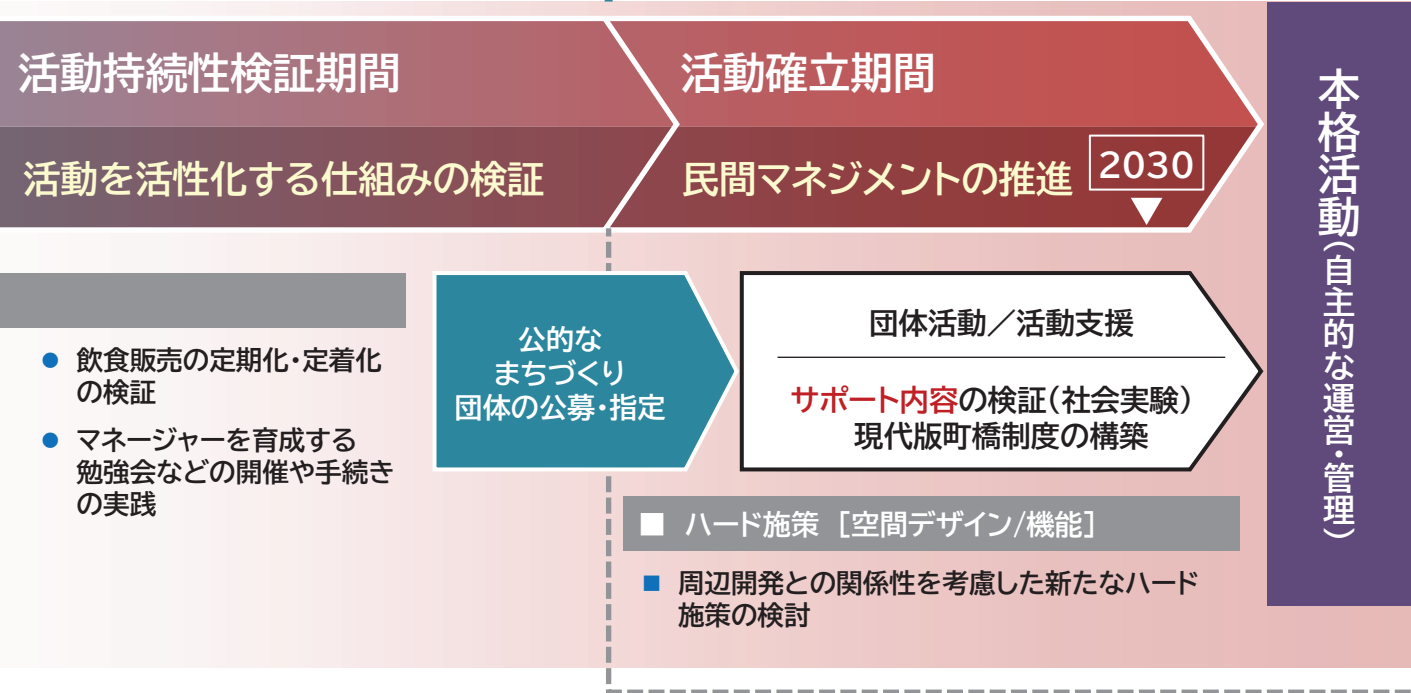
### [第2フェーズの主な取組み]



※（仮称）橋上空間等のマネジメント基本方針  
橋の維持管理や賑わい創出などのマネジメントに係る  
考え方やルールをまとめたもの

▼ 「（仮称）橋上空間等のマネジメント基本方針※」策定

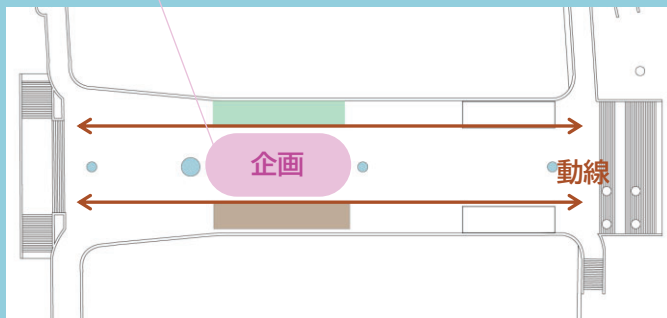
第3フェーズ（2028年～）



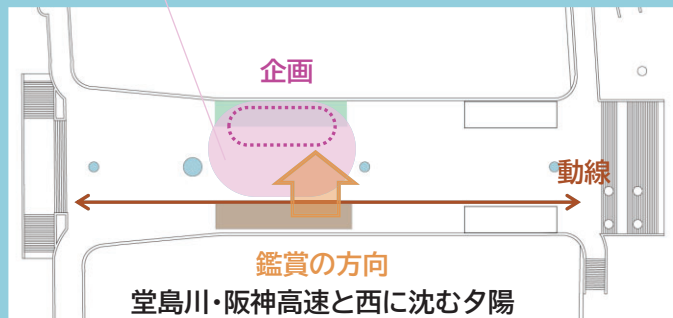
活動区域の検証／多様な利活用に対応する橋上レイアウト

- 広幅員を活かし、イベントの内容やシチュエーションに応じた様々なレイアウトパターン。
- 主催者の意向やニーズに沿って、自由に空間をカスタマイズ。

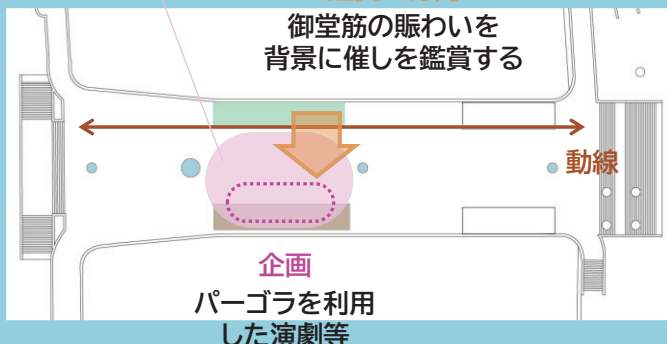
イベントスペース



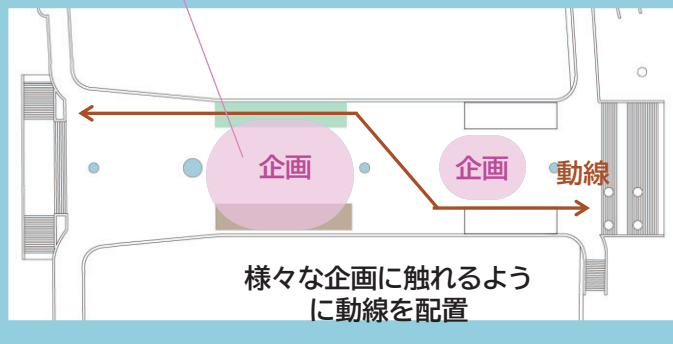
イベントスペース



イベントスペース



イベントスペース



# 錦 橋

## 1. 橋の現況

### 周辺エリア

- 錦橋の北側にある高さ200mの超高層ツインタワー「中之島フェスティバルタワー」の完成により、従来のオフィス中心であったまちから、商業、ホール、ホテル、美術館の立地によって集客性・エンターテインメント性のあるまちに変化しています。
- 香雪美術館や、大阪中之島美術館、国立国際美術館、大阪市立科学館も近く、文化的な拠点と言えます。



### 錦 橋

- 橋長:55.12 m
- 幅員:10.55 m
- 竣工:1931(昭和6)年
- 種類:歩行者専用橋(人道橋)  
元は土佐堀川可動堰

#### 【特徴】

～インフラ～

- 過去の社会実験を通じて電気・水道・倉庫などのインフラ設備を完備



### ポテンシャル・連携施設

- 橋の北側に隣接するフェスティバルホールは、大阪都心の主要なホールであり、クラシック、オペラ、バレエからポップス、伝統芸能まで多様なジャンルの公演を行う「音楽の殿堂」と言われています。

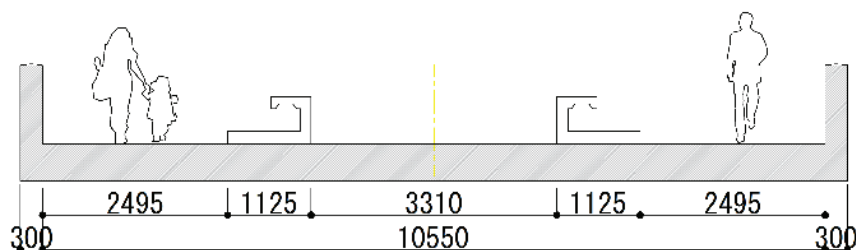
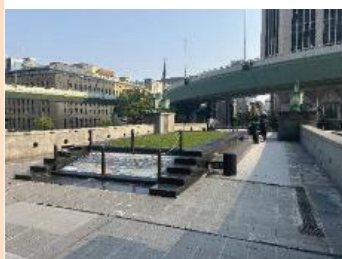


### 歴史 加島屋400年

- 2025年は、商都大坂の豪商・加島屋が創業した1625年から400年という節目の年にあたります。



- 幅約10メートルを活用できた場合、通行帯を確保しながら滞留・賑わいの広場として、多様な活用を行うことが可能です。



## 2. 社会実験の取り組み内容と検証結果

2024年 水都大阪ブリッジテラス2024秋 2024.10.11~12



- 橋の日常管理、担い手の発掘・醸成、大阪万博を契機にした橋上空間の魅力発信などを目的として、企業、大学などによる中之島ブリッジテラス実行委員会を発足し、橋上を周辺地域のワーカーや住民の憩い空間として活用する社会実験を実施しました。
- 具体的には、マルシェの開催、植栽帯をテラスとして活用、清掃・花植えなどを行っています。

### 【検証結果】

- ① 橋上でのコンテンツ開催による集客や安全性などを確認
- ② 交通上(歩行空間)や音の問題ないことを確認
- ③ 電気・水道・倉庫といったインフラ機能が必要であることを確認

2025年 水都大阪ブリッジテラス2025春 2025.5.15~18

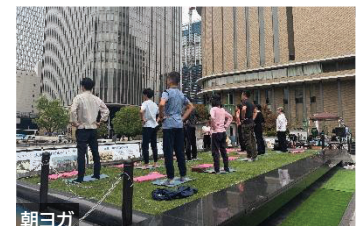


- コンテンツの更なる魅力化、集客性のあるものとしてビアガーデンを開催するとともに、ベンチの設置・植栽帯上部の活用(テラス利活用)を実施しました。
- 「加島屋橋」のイベント・歴史展示を実施するとともに、期間限定の橋名板「加島屋橋」の設置を行っています。

### 【検証結果】

- ① ビアガーデンの開催・テラス利活用については収益性は十分で、沿道企業の活用意向が大きいことを確認
- ② ベンチのニーズと機能として、収納、テント、取り外し可能な人工芝、タープ、スピーカー等を確認

水都大阪ブリッジテラス2025秋 2025.10.2~5



- 初めて連携する企業等との共同イベントの開催により、社会的価値の発信と広報を充実させました。

### 【検証結果】

- ① 橋上の利活用の幅を広げるためには、植栽帯のあり方を見直し、フレキシブルに活動の行える空間を確保することが必要であることを確認

# 錦 橋

## 3. 橋とエリアの将来像を示す2030ビジョン

- 幅約10メートルという、ヒューマンスケールの空間を持つ人道橋という特性を活かして、滞在機能とともに、来訪者と地元企業、他都市関係者などとの多様な交流機会の創出、ひいてはイノベーションの創出などによるエリアの活性化などに期待が持たれます。
- 橋の周辺に立地するエンターテインメント施設との連携を図ることで、水都大阪の一層の魅力を高めることとなります。



フレキシブルな空間

居心地の良いデッキ  
・滞留空間

音楽や文化発信の場



### 人と人をつなぐ

夕方17時以降、  
美味しい飲み物や季節の料理を手に、  
近隣の人々の気軽な交流の場に。

水都大阪にふさわしい橋上空間の魅力向上に向けたコンセプト

## 人と人、時をつなぐ橋

### 過去と現代をつなぐ

江戸時代のウォール街として  
金融をリードしたエリアの  
歴史を伝える拠点に。

### 都市と地方をつなぐ

日本各地の生産者やアーティスト  
が集い、その土地の魅力を伝え、  
他都市との交流を育む場へ。

### 地域主体による活動イメージ

- ① アートベンチの占有・管理
  - 企業の寄附金活用(管理活動を含めた検討)
  - 沿道企業を中心に日常の維持管理(清掃・巡回等)の内容や新たな活動体制を検討
- ② 月一マルシェ/ビアガーデンの実施
  - 夕方以降のアフター5交流イベントの定期開催
  - フェスティバルホールの音楽・演劇と連携したBGM企画
  - 収益を維持管理に充てる、マネタイズの内容を検討
- ③ 季節ごとの文化・交流イベントの実施
  - 沿道企業との共同企画
  - さらなる基金充実の検討



# 錦 橋

## 4. 2030に向けたロードマップ

「水都大阪ブリッジテラス2030ビジョン」策定 ▼

第1フェーズ(～2025年)

第2フェーズ(2026年～)

試行期間

活動促進期間

利活用ポテンシャルの検証

### ■ ハード施策 [空間デザイン/機能]

#### ■ 滞留空間と通行空間の断面(幅員)の検証

- 必要とする通行幅員を確認
- 芝生化した植栽帯上部・橋上中央空間活用の可能性を確認
- ベンチなど必要となる機能を確認
- 多様な利活用(規模の大きなマルシェやイベント)では、植栽帯が活動の支障となることを確認

#### ■ エリア活動を促進するインフラ設備の検証 (電気・水道・倉庫)

- 電気設備の設置
- 既存水道設備の改良が必要であることを確認
- 活動に必要なとする倉庫容量を確認

#### ■ 安全・安心・魅力の向上を図る橋上空間の検証

- 高欄・袖壁ライトアップ実験の実施による安全性、演出効果を確認

### ● ソフト施策 [マネジメント]

#### ● 事業ニーズの検証

- 橋上での販売を通じた飲食ニーズの確認
- ビアガーデンの開催・テラス利活用については収益性は十分で、沿道企業の活用意向が大きいことを確認

#### ● プレイヤーの発掘

- 周辺企業との連携強化
- 音楽、マルシェなど多様なプレイヤーによるコンテンツ・賑わいの創出

### ■ ハード施策 [空間デザイン/機能]

- 植栽帯の撤去と滞留空間のファニチャーの設置・検証
- 橋上での活動を顕在化する情報板の設置
- 高欄・袖壁のライトアップ
- 水道設備の改良
- 倉庫機能の拡充

周辺企業を中心とした協議会の設立

### [第2フェーズの主な取組み]



日常利用のイメージ

※(仮称)橋上空間等のマネジメント基本方針  
橋の維持管理や賑わい創出などのマネジメントに係る  
考え方やルールをまとめたもの

▼「(仮称)橋上空間等のマネジメント基本方針※」策定

第3フェーズ(2028年～)

本格活動(自主的な運営・管理)



植栽帯の撤去と滞留空間のファニチャーの設置・検証

橋上に近隣の人々の交流の舞台とする多機能デッキなどを配することで、周辺企業が連携した多様な企画を通じて、交流を育みます。

